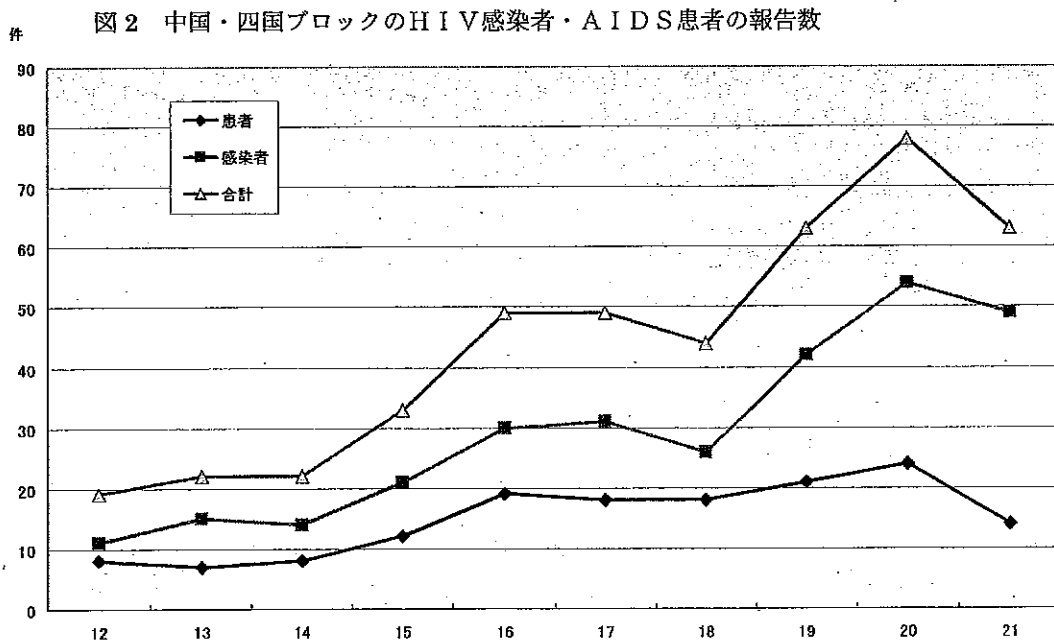
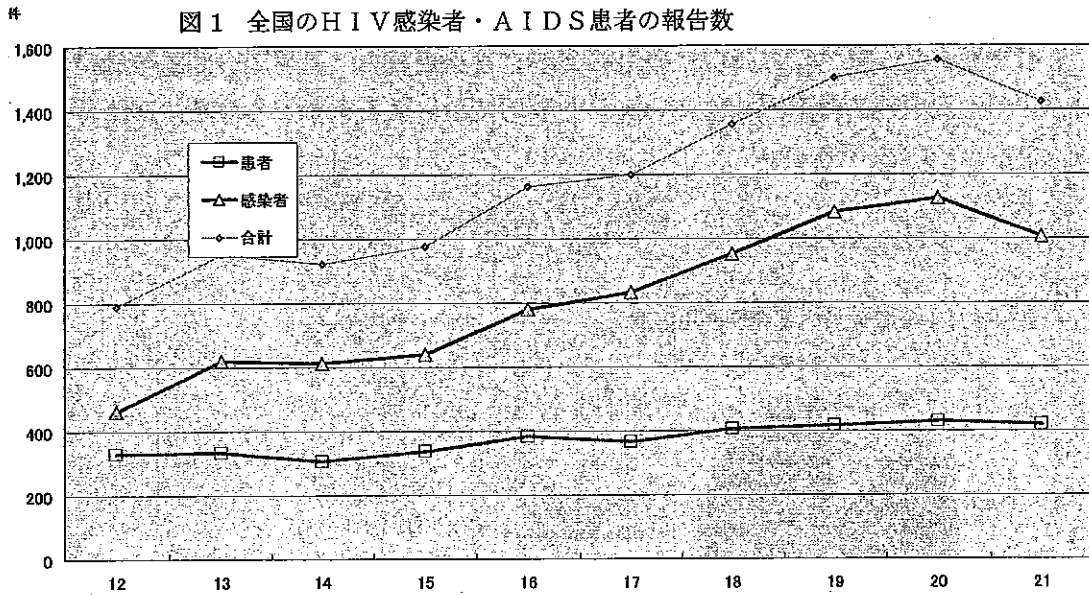


中国・四国ブロック内のエイズ発生動向の概要

1 HIV感染者・AIDS患者の報告数

中国・四国ブロック内のHIV感染者・AIDS患者の報告数は、全国の動向と同様の動向で、平成20年まで増加し、平成21年は減少している（図1、図2）。



2 HIV感染者・AIDS患者の感染経路別内訳(全国 H21 年報告例)

(1) HIV感染者について

全国で平成 21 年に報告された HIV 感染者の感染経路は、異性間の性的接触が 210 件 (21%)、同性間の性的接触が 694 件 (68%) と、性的接触によるものがあわせて 904 件 (89%) と大半を占めている (図 3)。

(2) AIDS患者について

全国で平成 21 年に報告された、AIDS 患者の感染経路は、異性間の性的接触が 132 件 (31%)、同性間の性的接触が 210 件 (49%) と性的接触によるものがあわせて 342 件 (80%) と多くを占めている (図 4)。

図 3 全国のHIV感染者の感染経路別内訳

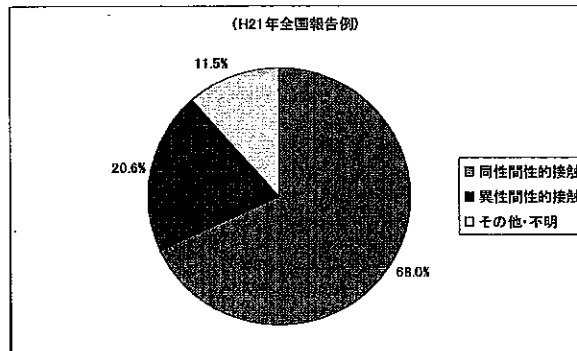
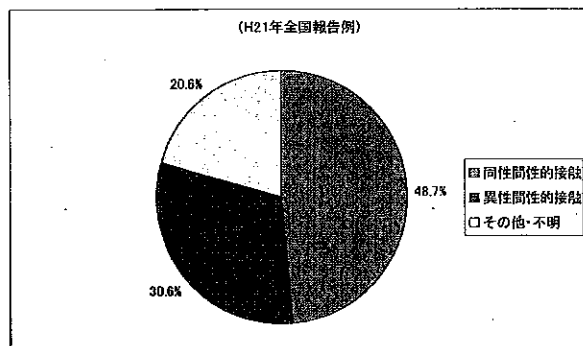


図 4 全国のAIDS患者の感染経路別内訳



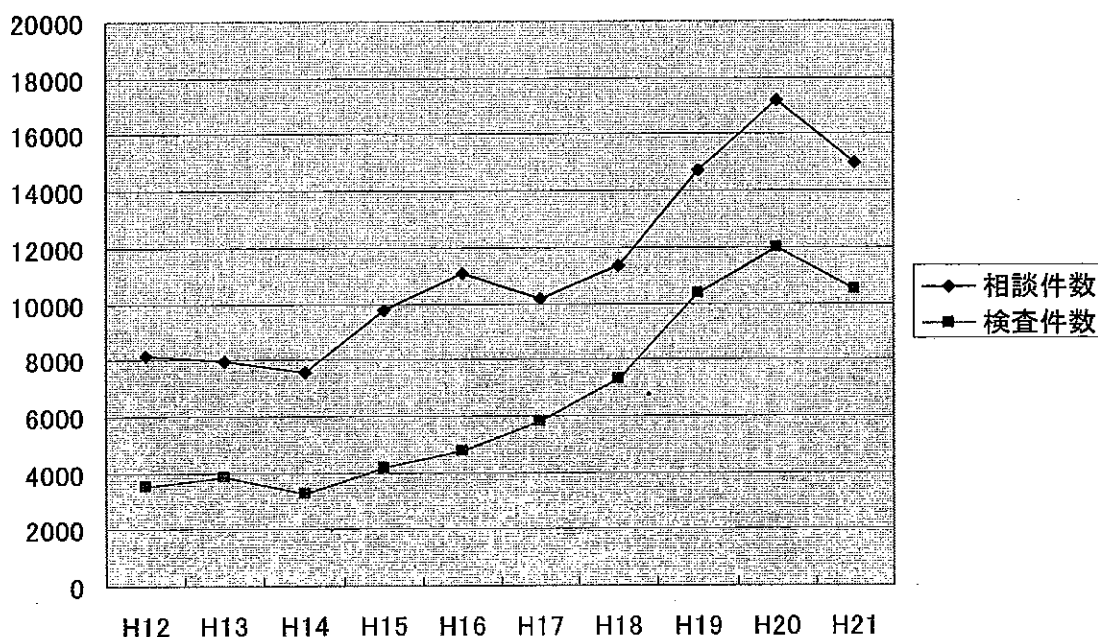
3 無料匿名検査及び相談

中国・四国ブロック内の自治体における無料匿名 HIV 抗体検査件数, 相談件数とも, 平成 20 年まで増加していたが, 平成 21 年では, 減少している (図 5)。

また, 平成 22 年では, すべての自治体で検査・相談件数が前年同時期 (第 1 四半期で比較) よりも減少しており, 中国・四国ブロック全体では, 相談件数は, H20 年で 4,305 件であったのが, H21 年では, 2,946 件 (表 4)。H I V 抗体検査件数は, H20 年で 2,906 件であったのが, H21 年では, 1,781 件 (表 5) と減少している。

このため, 保健所等における H I V 抗体検査・相談を引き続き推進, 周知する等の取り組みが必要である。

図 5 中国・四国ブロックの HIV 抗体検査・相談件数の年次



相談	H21第1四半期*		H22第1四半期*	
	件数	割合	件数	割合
鳥取県	38		19	
島根県	123		72	
岡山県	623		422	
広島県	1,801		1,411	
山口県	251		173	
徳島県	370		237	
香川県	478		289	
愛媛県	577		304	
高知県	44		19	
計	4,305		2,946	

*第1四半期とは, 1月から3月のこと

表 1 中国・四国ブロックの相談件数
(H21 と H22 の比較)

検査	H21第1四半期*		H22第1四半期*	
	件数	割合	件数	割合
鳥取県	227		119	
島根県	118		75	
岡山県	310		207	
広島県	734		524	
山口県	405		220	
徳島県	291		182	
香川県	170		106	
愛媛県	424		244	
高知県	227		104	
計	2,906		1,781	

*第1四半期とは, 1月から3月のこと

表 2 中国・四国ブロックの HIV 抗体検査件数
(H21 と H22 の比較)